

マーシャル安定度試験 (安定度・フロー特性)

工事名 アスファルトのマーシャル安定度試験

試験年月日

2011年08月01日

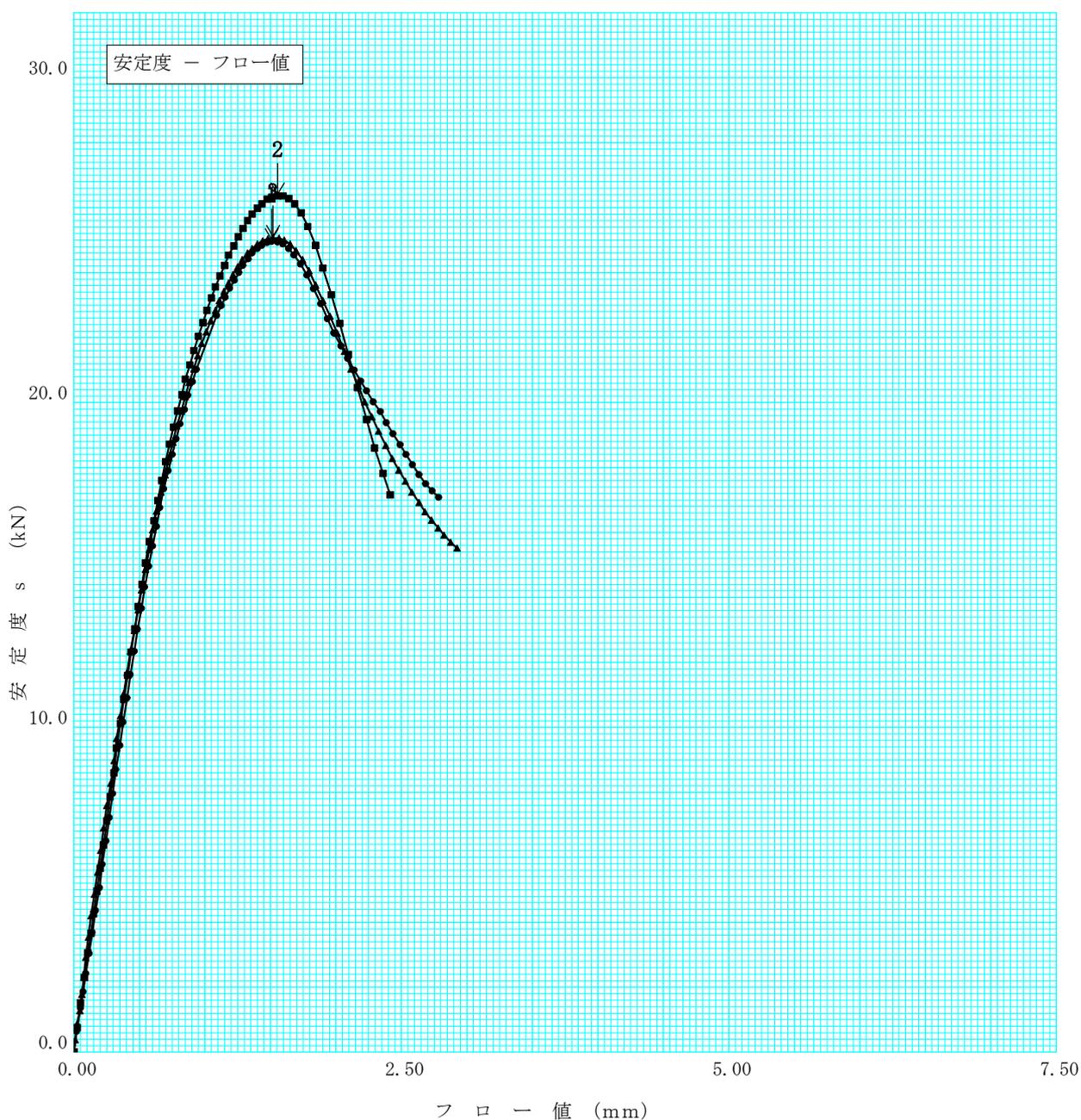
試験場所

HMD試験室

試験者

HMD試験者

アスファルトの種類		供試体 No.	1	2	3	
混合物の種類		アスファルト量 %				
突固め回数 回		供試体平均厚 cm	6.32	6.33	6.35	
突固め時の温度 °C		空中重量 g				
特記事項 1) 必要に応じて記載する。		水中重量 g				
		表乾重量 g				
		容積 cm <sup>3</sup>				
		密度 g/cm <sup>3</sup>				
		安定度 kN	24.97	26.38	25.08	
	フロー値 1/100cm	15	16	15		



アスファルトコンクリート再生骨材の圧裂試験 (荷重・圧裂強度特性)

調査名・目的 アスファルト混合物の圧裂試験

試験年月日

2011年08月01日

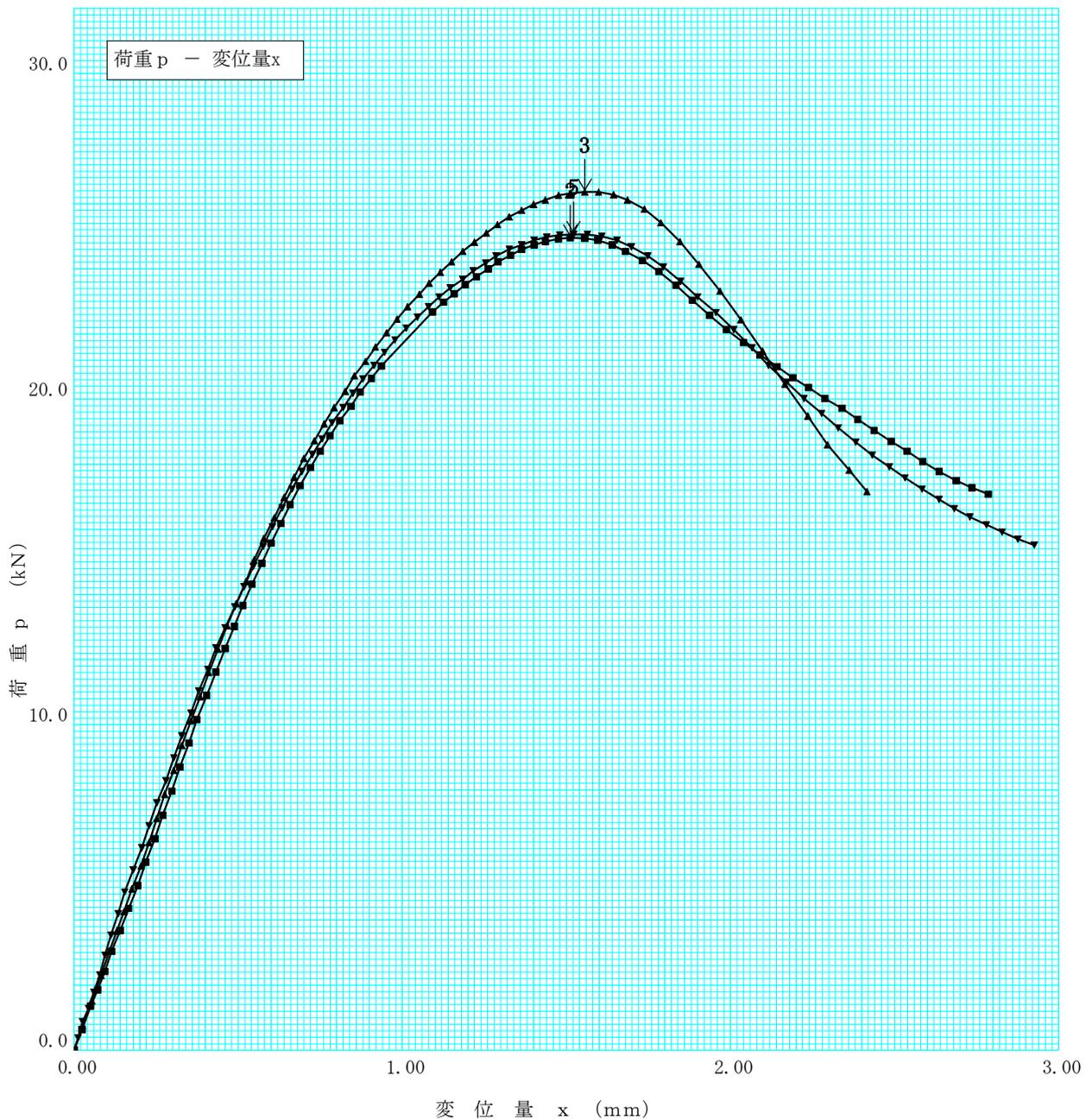
試験場所

HMD試験室

試験者

HMD試験者

混合物の種類	タイヤバレット	供試体 No.	1	2	3	4	5
供試体の区分		供試体直径 L mm	102.1	102.2	102.3	102.4	102.5
載荷速度	50 mm/min	供試体の厚さd mm	63.1	63.2	63.3	63.4	63.5
試験温度	20 °C	供試体の質量 g	1111.0	1112.0	1113.0	1114.0	1115.0
養生方法	20 °C 5時間以上	供試体の密度 g/cm	2.151	2.145	2.139	2.134	2.128
特記事項 1) 必要に応じて記載する。 $\sigma_t = \frac{2p}{\pi dL} \times 1000$ 圧裂係数 = $\frac{\sigma_t}{x}$		最大荷重 p kN	24.95	24.97	26.38	23.90	25.08
		圧裂強度 $\sigma_t$ MPa	2.47	2.46	2.59	2.34	2.45
		変位量 x mm	1.13	1.51	1.56	1.78	1.52
		圧裂係数 MPa/mm	2.18	1.63	1.67	1.32	1.61
		平均に用いた圧裂係数	×	○	○	×	○
		平均圧裂係数 MPa/mm			1.63		



アスファルトコンクリート再生骨材の圧裂試験（荷重・圧裂強度特性）

調査名・目的 圧裂試験（標準試料）No.1. 5ton試験機、No.2. 5ton試験機 試験年月日 2012年02月09日  
試験機 試料の変形量を出来るだけ正確に計測した試験方法による

試験場所 試験者 By HMD

混合物の種類		供試体 No.	1	2		
供試体の区分		供試体直径 L mm	102.0	102.0		
載荷速度 50 mm/min		供試体の厚さ d mm	63.0	63.0		
試験温度 20 ℃		供試体の質量 g				
養生方法 20 ℃ 5時間以上		供試体の密度 g/cm				
特記事項 1) 必要に応じて記載する。 $\sigma_t = \frac{2p}{\pi dL} \times 1000$ 圧裂係数 = $\frac{\sigma_t}{x}$		最大荷重 p kN	19.92	20.38		
		圧裂強度 $\sigma_t$ MPa	1.97	2.02		
		変位量 x mm	0.59	0.56		
		圧裂係数 MPa/mm	3.36	3.58		
		平均に用いた圧裂係数	○	○		
		平均圧裂係数 MPa/mm			3.47	

